

母のようなお二人に出逢えて

西高木 小口 志保



何十年も経った今でも、我が子のように見守り続けてくださるお二人の温かさにふれる度、本当に有難く感謝の気持ちでいっぱいになります。

一人は、小学校五年間書道を習った、涙もろくて優しい下手よし子先生です。毎週土曜の午後は、近所の友達と先生のお宅に通い、正座をし、墨をすり、先生から朱墨で百点をいただけまで練習しました。どうしても上手に書けない時は、先生が後ろから手を添えて一緒に書いてくださるのですが、その時は魔法の筆になったみたいに、思い通りの止め、ハネができる穂先が面白く、また、添えられた手の柔らかさが大好きでした。

真夏には、汗だくの額を冷たいタオルで拭いてくださったり、どの子にも優しく、教え方も根気よく丁寧でした。今思うと、おばあ様のお世話や夕方帰宅したご主人のご飯の仕度等忙しかった筈ですが、一度も生徒を急がす事なく、最後まできちんと接していただきました。

高校卒業後の進路を考える際、墨の香りと共に先生の事が思い出され、先生のようにになりたいと書道の専門学校へ進みました。結局はその後一般の会社に就職し、芸術的な書から離れてしまいました。が、生活の中で生かされる書もあり、書道の勉強は一生続くのだという話をしてくださり、会社で式次第や看板や賞状書きでお役に立てる機会を得た時、先生がおっしゃった通りだと、嬉しくなりました。

もう一人は、就職した会社の保健室の看護師、米倉あささんです。私は総務の中で、お客様の接待、社員の対応、出張者の切符や宿の手配、役員スケジュール等々の仕事で、医療とは違いますが、様々な人と接するという点での心得や、仕事に取り組む姿勢ということにおいて、米倉さんからたくさん教わり、支えていただきました。どんな人にも真心で向き合い、誠心誠意尽くす。気配り、心配り、完璧な仕事をするための下準備の大切さ。何事もなく済んで当たり前前で、でもそれがいかに難しいか。自分の仕事に対する強い責任感ゆえ、人知れずやる陰の努力等、本当に勉強になりました。指摘や助言も的確で、ストリートに心に響きました。

お二人からは、書や仕事の技術的な事だけでなく、母のような奥深い温かさ溢れる人間性も教えていただきました。その温かさは、今の私の心の根っこになっっていると思います。

十二月といえば師走、普段は落ち着いている師(僧侶)でさえも走り回るといふ、ちよつと大袈裟な比喻を使って表現されています。

実際も一年の締めの中で、何かと慌ただしくなってしまう。十二月は年末年始の休みがあり、その前には天皇誕生日とクリスマスがあり、パーティーを開いたりプレゼントを交換したりする年末の楽しい行事になっています。

また、一年で最も昼が短く、夜が長い冬至があります。冬至にカボチャを食べるといふ習慣は、野菜が不足しがちなこの時期に、ビタミンやカロテンを摂るといふ合理性があり、昔の人は「冬至までとっておいたカボチャを食べると魔除けになる」と言っていたそうです。この日に柚子湯に入ると風邪をひかない、という言い伝えも合理性があり、現代にも十分通用する昔の人の知恵と言えます。

みなさんも風邪にはくれぐれも気をつけましょう。(浅井)

教育委員会からのお知らせ

平成24年 下諏訪町成人式のお知らせ

成人該当者：平成3年4月2日～平成4年4月1日までに生まれた人～



期日：平成24年1月8日(日)  
受付：午前11時30分  
入場：受付終了次第  
開式：正午  
場所：下諏訪総合文化センター



該当者(当町在住の方・親等が在住の方)には、出欠席の往復ハガキを11月初旬にお送りしました。必要事項をご記入の上、12月2日(金)までにご返信ください。

記念となる成人式を自分たちで運営してみませんか？

成人を迎える方の中から、成人式運営スタッフを募集します。役割は、式典受付・町民憲章の唱和・成人の詞・司会・祝電披露などです。希望される方はご連絡ください。

問い合わせ：下諏訪町教育委員会 生涯学習係  
☎27-1111 (内線718)

園児のつがやき

外で遊んでいる時、ふと担任の前に来て  
「ねえ、どうして先生は保育園で遊んでばかりで会社(仕事)に行かないの？」

みずべ保育園 前田明子先生

人権を考える

悪口・陰口・うわさ話

「人権を考える」などと言うと、何か堅く小難しいことのように考えがちですが、本当は私たちにあって、最も身近で切実なことなのだと思います。町の人権教育アンケートによると、うわさ話や悪口、陰口を多くの人が経験し、人権侵害であると指摘しています。何げないうわさ話は、時には悪口にも陰口にも転化していきます。その怖さは、一人の人間を立ち直れないほど傷つけるのに充分です。

「親しければ親しいほど、土足でかすか踏み入ることのないように、そして親しい人のことを聞かれても、安易に口にすることがないようになりたい。それが友達への唯一の誠実さである。」と語った人がいます。

人との距離感が大切なのだと思います。難しいことですが、近すぎず遠すぎず、適度な距離を保ちつつ、快適な人間関係をつくりていきたいです。

(上野)

